

幼稚園教育の科學的研究の前途

ダビッドソンに據る

紹介子

モンテッソリーに對して兎角の批評はあるもの

の同女史の幼稚園教育の上に爲した貢獻は非常なものである。女史は目的に於て、氣分に於て、將又

見地に於て、科學者の持つ謙抑と寛濶と利害の念を混へない熱心とを人道主義者の持つ溫き同情心とを最も悦ぶべき仕方にて結びつけてゐる。女

史が生理學、心理學及び其他の科學を教育的研究及び實際の基礎として十分に尊重し且つ考慮したといふことは後進に對して甚だ適宜の前例を示したと言ふべきである。兎に角、モンテッソリーに依つて、科學を尊重し、科學的研究の結果を用心深く保育界にも應用しなければならぬといふことが一般保育界に了解されるやうになつて來たのであ

る。モンテッソリーが幼稚園教育の研究に最も進んだる態度を紹介するため無雙の努力を爲したことは吾々の十分に感謝せねばならぬ所である。

モンテッソリーに就てはこの位にして置いて、更に幼稚園教育の科學的研究の前途は如何といふ問題へもう一層徹して行くことゝする。

この點に關しては吾々は亞米利加の科學者ウィットメル教授から多大の示唆を受けるのである。ペンシルヴェニア大學の教授なる同氏はその著「學校と社會」に於て多くの有益なる言説を爲してゐる。同氏の言説には背景がある。科學と保育とを有利に關係させ得た點に於て同教授の右に出づるものは亞米利加に於ては絶無である。同教授は

十二年間も進みの遅い幼児の研究と訓練とに費した。同教授は精神的に將又身體的に缺陷のある兒童に對して一種の心理學的の臨床講義を案出して之を數千の兒童の上に實驗してみた。同教授は斯る兒童に對して經驗のある教師達を助手に使つて、注意深き診断を施した後、自らこれらの兒童の級を管理した。最高の實驗的價値を有する知識を以て適當な訓練が與へられ、中止され、吟味された。斯る兒童に對しては教師は科學者を兼ねなければならぬといふモンテッソーリの考を十分に具體化したのはこのウイットメル教授である。

同教授は言ふ――

要するに、私の考は若しも教育といふことが立派な職業となり醫藥と同じやうに社會的價値を認められやうとするならば、教育的實習は心理學に於ける科學的基礎の上に立たなければならぬといふことである。更に又心理學が教育的實習に於て

科學的方法を應用し得るやうな有望な、頭のいい學生を大學教育の一方面に得やうとするならば、他の學問的職業から取り殘された人々を迎へるだけで満足してはいけない。心理學的な教育を受けた先生を得るためには特にさういふ教育設備が準備されなければならない、而してその年限は何うしても四ヶ年を要すること、思ふ。斯くして得られたる先生は進みの遅い兒童を導くことが出来る。若しくは一人々々に導かねばならないやうな兒童を保育して行くことが出来るのである。進みの遅い小學兒童の面倒を見て行くのと幼稚園の幼兒を保育して行くのとは略ぼ似寄りの仕事である。

ウイットメル教授の意見は大體上の如きものであるが私は斯る目的の爲めに大學が女流教育家、殊に保姆のためにその門戸を開放され、十分の研究を遂げしむるやうにされたいのである。(完)